

寝屋川公園

事業名	大項目 (事業共通)	小項目	効果の指標等	具体的な効果等 (地域の状況等)	受益者	備考
公園事業	費用便益分析					
	安全・安心	〔存在効果〕 火災延焼の防止・遅延 災害応急対策施設の確保	・費用便益比(代替法)	建設省公園緑地効果が策定中である費用効果分析マニュアルにしたがってそれぞれの便益を計測する。	周辺住民	
	快適性 (生活環境)	大気浄化			利用者	
		〔利用効果〕 運動の場の提供 アウトドア活動の場の提供 自然観察・研究の場の提供	・費用便益比(旅行費用法)			
	定性的評価等					
	安全・安心	災害時における避難地の確保	・府及び各市町村の地域防災計画への位置づけ	・寝屋川市広域避難地に指定 ・避難圏域面積 861ha ・避難対象人口 57千人	周辺住民	
	環境 (自然環境)	自然環境の保全		・自然植生を残したり、新たに植樹することにより多様な自然環境を保全、復元することが可能であり、これにより地温上昇の軽減や光合成による酸素の供給等が促進される。	周辺住民 利用者	
	快適性 (生活環境)	ゆとり空間の確保	・利用者数	・市街地の中の貴重で身近な緑空間の確保。 年間来園者数 約20万人	利用者	
		都市景観の形成		・市街地に質の高い「みどり」空間を創出する。	周辺住民 利用者	
	活力	地域の活性化	・利用状況	・高校野球の予選や北河内地域の少年野球大会会場に利用されるなど、スポーツ行事の場を提供する。	府民全般 利用者	
その他						